

<目次>

●「保育園入所待機児ゼロ」の真実

▲お知らせコーナー

- ☆ 5/28 映画「時の行路」上映会
- ☆ 5/29 まちづくりフェスタ
- ☆ 6/1 ウクライナ問題から憲法を考える（川合企画）
- ☆ 6/5 平和をきづく市民の集い
- ☆ 6/17・18 西加瀬プロジェクトアセス説明会
- ☆ 6/19 川崎母親大会

★編集後記

●「保育園入所待機児ゼロ」の真実

5月10日に川崎市は4月1日現在の保育所待機児童数は、2年連続ゼロを達成したと報道発表し、各新聞でも地方版で、市の発表をそのまま報道しました。

しかし、市の発表資料を精査してみると、実は、認可保育園の入所を希望しても入所できなかった「隠れ待機児童」が2,000人以上いることが見えてきます。

まず、川崎市は1月に、認可保育園の申し込みの一次調整の結果を発表しました。これによると、入所保留になった数が、2189人でした。

今回4月の発表では保留児童数は1,552人、3か月の間に637人も減少しました。その理由は、申請の辞退や市外への転出などが考えられます。

川崎からの子育て世代の転出は急増しています。

川崎市が転出者に市政への要望をアンケートした結果では「保育など子育て支援施策の充実」が第1位（38%）になりました。

多くの方が、安心して子育てできる環境を求めて、転出しているのです。

次に、4月段階の保留児童が1,552名いたのに、なぜ、待機児ゼロになるのでしょうか。実は、この保留児童1,552名に対し、市の認定保育園等に330人、育休延長で767人、特定保育所を希望したので入所しなかった307人、求職活動休止29人などと次々に「引き算」をして、最後に「ゼロ」の発表となったわけです。

希望が叶わず苦渋の決断を迫られた子育て世代の姿が浮かび上がってきました。

今年度の保育所入所申請者は、36,107人で過去最大、就学前児童数の申請率は49.1%で過去最高を更新し続けています。

今後も、保育への要求は強まるでしょう。

川崎市は、認可保育園への入所希望に見合う認可保育園の増設を進めると共に、認可外保育園等にも充実した支援を行い、保育環境全体を改善し、子育て世代が安心して働き、生活できる町をめざすべきです。

▲お知らせコーナー

☆ 映画「時の行路」上映会

5月28日(土) ①9時 ②12時 ③15時 ④18時

主役モデル五戸氏アフタートーク②12時の回

全川崎労組プレゼンテーション③15時の回

かわさきゆめホール

一般：1500円、学生シニア障がい者1200円

(シニアは60歳以上/当日300円増)

リーマンショックによる不況の中、解雇された非正規労働者の闘い

044-433-3003

hall@kawasakiyume.com

<http://www.tokinokouro.kyodo-eiga.co.jp>

☆ 第27回まちづくりフェスタ

5/29(日)11時～15時

溝の口駅前ペディストリアンデッキ

☆ 川崎合同法律事務所・2022年講演会企画

「ウクライナ問題から憲法を考える」

講師：渡辺 治(一橋大学名誉教授/九条の会事務局)

6/1(日)18時半 カルッツかわさき大会議室

ウクライナ戦争に乗じた改憲論との闘い

申込み不要

☆ 平和をきづく市民の集い

6/5(日)13時～川崎市平和館

記念公演のみ実施

「檻の中のライオン」

一憲法がわかる46のおはなしー

椋大樹(弁護士・ひろしま市民法律事務所長)

☆西加瀬プロジェクトに関わる条例環境影響評価準備書説明会

第1回 6/17(金)19時より

第2回 6/18(土)19時より

川崎市生涯学習プラザ 401 大会議室

問合せ：044-200-2156

☆ 川崎母親大会

6/19(日)10時～16時 サンピアン(労働会館)

10時～映画「お菓子放浪記」

13時～サークルネねぎぼうずハンドベル

講演：平和な世界を手渡そう！一地球はみんなの故郷(ふるさと)だからー

講師：井田徹治(科学ジャーナリスト)

★編集後記

オーディオ機器の名門、オンキヨーエンターテイメントが自己破産。負債総額約 31 億円。
オーディオマニア出身としては寂しい限り。

市川に工場を持つ完成バイト及び自動車産業向け金型メーカー高周波精密(株)が 108 人の社員を 60 人削減する。

技術革新、産業構造の変化に対応しきれない企業に情け容赦なく経営危機が襲いかかります。

太陽光関連業者の倒産は 2020 年度上半期以降、半期に 40 件前後のペースで続いている。
2020 年度下半期、2021 年度上半期と、負債総額が 300 億円を超えるようになってきたのが大きな特徴。(帝国データバンク)

こっちは国のエネルギー政策の欠陥が原因。再エネ推進と逆行。

「泥棒に追い銭」は言い過ぎだが、川崎を出て行く JFE に川崎市は税金から 27 億円の奨励金を出すそう。2 兆円近い内部留保があるのに。です。

えっ奨励金？と耳を疑います。

時代遅れの大企業奉仕を続けるなら川崎の将来も危うい。(Y)